

令和8年度第1回京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会 会議録

1 開催日時 令和8年5月26日（火）午前9時00分～午後6時00分

2 開催場所 京丹後市役所（1号館2階）122会議室

3 出席者氏名

（1）京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会委員

（6名中6名出席）

行待佳平 委員長

今井みどり 副委員長

田中匡代 委員

小谷順一 委員

川口勝彦 委員

吉野有香 委員

（2）事務局

引野 雅文 市長公室長

島貫 博志 市長公室政策企画課長

堀江 亮平 市長公室政策企画課係長

今西 美季 市長公室政策企画課主事

4 議事等

（1）委員の紹介

（2）副委員長あいさつ

（3）議事

ア 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金について

イ 企画提案者からのプレゼンテーション

ウ 採択の適否に係る意見交換及び結果とりまとめ

（4）その他

（5）委員長あいさつ

5 公開又は非公開の別

一部非公開 （4）議事イ、議事ウ

（「京丹後市審議会等の会議の公開に関する条例」第5条第5号アに基づく）

6 要旨

（1）委員の紹介

行待佳平 氏、今井みどり 氏、田中匡代 氏、小谷順一 氏、川口勝彦 氏

吉野有香 氏 を委員として紹介

資料 京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会 委員名簿

資料 京丹後市韓哲・まちづくり夢基金運用委員会 座席表

(2) 副委員長あいさつ

本日はお忙しい中お集まりいただきありがとうございます。本日の委員会は、韓哲・まちづくり夢基金事業補助金の採択に係る審査となります。昨年の18件を上回る過去最高の24件の審査ということで、大変長丁場の委員会となりますが、ご承知のとおり本補助金については、マルハンの韓会長の、夢を持つ大切さとその実現に向け努力するといった思いを後押ししようとするものであると認識しております。件数も多いため、審査を行うのは大変な部分もありますが、厳正に審査いただき、基金の有効な活用に繋がりますよう、何卒よろしくお願い申し上げます。

(3) 議事

ア 韓哲・まちづくり夢基金事業補助金について

《資料1に基づき事務局から説明》

資料1 補助金概要

《資料2-1、資料2-2に基づき事務局から説明》

資料2-1 審査方法について

資料2-2 採点表（採点参考）

《質疑応答及び意見》

特になし

イ 企画提案者からのプレゼンテーション

(資料3-1、資料3-2に基づき、企画提案者から企画内容について説明)

資料3-1 令和8年度企画書一覧

資料3-2 企画提案内容（概要版）

企画番号①

「ベトナムにおける国際サッカー交流および文化学習・

社会貢献活動を通じた人材育成事業」

(プレゼンター：KYOTO TANGO QUEENS)

企画番号②

「暮らしの祭典 SLOW」

(プレゼンター：SLOW 実行委員会)

企画番号③

「丹後に「能」を広げる文化・芸術・教育振興プロジェクト」

(プレゼンター：丹の国丹能会)

企画番号④

「タカシマ FEEL キャンプ」

(プレゼンター：株式会社タカシマプラス)

企画番号⑤

「キコリ谷ナイトピクニックシネマ2026

ー夕暮れのガーデンで楽しむ食とシネマー」

(プレゼンター：株式会社 SORA)

企画番号⑥

「和太鼓政や/京丹後公演 2026」

(プレゼンター：政やの和太鼓塾北近畿支部)

企画番号⑦

「ウィーン冬期音楽講習会参加」

(プレゼンター：永岡奏海)

企画番号⑧

「丹後文化芸術受賞作品展示連携事業

～次世代育成と地域文化振興を目的とした交流創出事業～」

(プレゼンター：丹後織物工業組合)

企画番号⑨

「「大地は器」2026 サンセットストーリー」

(プレゼンター：ヒカリ美術館)

企画番号⑩

「京丹後ドッグフィルムフェスティバル 2026」

(プレゼンター：ドッグフィルムフェスティバル実行委員会)

企画番号⑪

「丹後トップアスリートプロジェクト」

(プレゼンター：TTA 陸上クラブ)

企画番号⑫

「丹後語り部の会語り部動画制作・活用事業」

(プレゼンター：丹後観光ロコミ大使 語り部の会)

企画番号⑬

「集落の記憶を未来につなぐ
成路分校 ショートドキュメンタリー・ZINE 制作」
(プレゼンター：合同会社むすんでひらいて)

企画番号⑭

「二箇・月の輪田・清水戸遺跡の継承事業」
(プレゼンター：二箇・月の輪田保存会)

企画番号⑮

「親子で楽しむコンサート」
(プレゼンター：クライネビューネ)

企画番号⑯

「地域の知を未来へつなぐ「ウィキペディアタウン」」
(プレゼンター：edit Tango)

企画番号⑰

「大路集落 Active Retreat プロジェクト～集落への貢献活動を通じた自然・
文化継承と心身の回復循環モデル構築事業～」
(プレゼンター：株式会社まにま)

企画番号⑱

「丹後から能楽師プロジェクト 2026」
(プレゼンター：たんたんのうのう会)

企画番号⑲

「丹後の未来を担う子どもたちを育てるお母さんの居場所と学び事業」
(プレゼンター：ゆるりら)

企画番号⑳

「子どもたちにアート・工芸の体験を提供する芸術文化教育事業」
(プレゼンター：あしたの畑実行委員会)

企画番号㉑

「丹後活性化プロジェクト」
(プレゼンター：京都府立丹後緑風高等学校)

企画番号㉒

「食と農をつなぐ体験型食育プロジェクト」
(プレゼンター：安味委澄)

企画番号㉓

「八丁浜夕日のピアノリサイタル」

(プレゼンター：大川愛子)

企画番号㉔

「シロイカフェスティバル 2026 in 網野

(プレゼンター：網野遊漁船団)

ウ 採択の適否に係る意見交換及び結果とりまとめ

(事務局から採点集計結果を報告)

企画番号⑨⑬⑰について、総得点がいずれも採点基準を下回っているため採択しない。

企画番号⑭㉓について、条件付き採択とする。

企画番号⑥について、応募資格要件を満たしているか要確認とする。

その他の事業について、採点基準を満たしているため採択する。

(結果)

企画 1 8 件 (①②③④⑤⑦⑧⑩⑪⑫⑮⑯⑰⑲⑳㉑㉒㉔) について、委員会としては採択することとする。

企画 2 件 (⑭㉓) について、委員会としては条件付き採択とする。

→計画の一部修正を求め、その内容により、採択基準を満たすことが適当と判断された場合、採択とする(委員長への確認を行う)。

企画 1 件 (⑥) について、委員会としては応募資格要件を要確認とする。

→委員会終了後、本事業の主催団体を確認したところ、申請者と異なる団体であることが判明したため、資格要件を満たさないこととし、不採決とする(委員長確認済)。

企画 3 件 (⑨⑬⑰) については、委員会としては不採択とする。

(4) その他

特になし

(5) 委員長あいさつ

皆さん、長時間にわたり、大変お疲れ様でした。今年度は24件と大変多くの応募をいただき、うれしい悲鳴となりました。引き続き、子どもたちの夢のためにこの基金を活用していただければと思っています。本日はありがとうございました。